



健康な体  
誠実な心  
豊かな知性



尾張旭市立東中学校  
学校だより  
令和元年度 第11号

4月、250名の1年生が入学します。新しい仲間！そして先生たちとの別れと出会い。

## 学校 早く始まってほしい

校長 水野 茂



3月3日、259名の卒業生が巣立っていきました。保護者も在校生も来賓の方々もいない、特別な卒業式でした。先生たちがつくる花道を通して卒業生が入場。緊張しながらも、うれしそうに式場に入る卒業生。あたたかい空気が会場を包みました。担任の先生からの最後の呼名に、「はい！」と大きな声で返事をする卒業生。3年間の学校生活がそこに凝縮されているようでした。退場時には、卒業生が互いに拍手をして退場。259名の卒業生が皆、次なるステージでも錬磨しながら「自分」をつくっていくと信じます。

卒業式の式辞の中で、今のこの状況に、次のようなことを織り込みました。

収まる気配がなく、世界的な感染・流行が懸念されている「新型コロナウイルス感染症」。私たち人類は、この目に見えない未知の極小ウイルスの前に今なす術をもっていません。このような「危機」にさらされた時、「いつか誰かがなんとかしてくれるだろう」と、多くの人たちは期待します。その裏では、感染し苦しんでいる人たちを助けようと、リスクを背負いながら向き合っている人たちがいます。なんとか解決・治療の糸口を見つけようと、寝る間も惜しんで努力している人たちがいます。卒業生の皆さんの中から一人でも、将来、こうした「危機」に立ち向かい、なんとかしたい、なんとかしようとする人となって活躍してくれることを願います。



1・2年生の皆さんも、こうした事態の中で、ぜひ将来の「自分」を考えたり、「今の自分に出来ること」を考え行動に移したりしてほしいと願います。誰もが、そうした力と可能性をもっていきます。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためにとられた、3月2日からの一斉休校。皆と過ごすはずの時間があっという間になくなってしまい、先生たちは戸惑いしかなかったです。休校中、自宅で過ごす皆に電話等で皆の健康状態を確認したり、誰もいない教室・校舎の掃除や環境整備をしたり、学校再開に向けての準備を進めていました。1・2年生の皆は「部活がしたい」「皆と会いたい」「先生の授業を受けたい」など、「早く学校が始まってほしい」という気持ちがどんどん大きくなってきているのではないのでしょうか。それぞれの新しいスタートの4月がまもなくやってきます。4月7日の入学式・始業式から学校は再開です。各自がしっかり準備し、心も身体も整った状態でその日を待つようにしてください。

## 中学生海外研修に18名が応募

尾張旭市中学生海外研修に東中学校の2年生18名が名乗りをあげました。申込書からは、研修に臨む決意や期待することが、それぞれの言葉で綴られていました。18名の「チャレンジ」が伝わってきます。応募した生徒たちは、この後、4月11日の「選考(作文・面接)」に挑みます。頑張ってください！このチャレンジは絶対に無駄にはなりません。そして、もうすでに成長ははじまっています。



## 令和2年度の変更点

今年度から変更、または変更を予定している点について、一部をお知らせします。

- 年度初めの学力テスト、1学期中間テストは実施しません。
- 清掃の時間を5分短縮し、給食の時間を延ばします。
- 文化祭を縮小し、「合唱」をクラス発表とします。
- クラス旗は、全クラス1学期の早い時期に作成します。
- 新3年の学習補充教材を選択できるようにします。
- ※ 林間学校・修学旅行の日程を、2学期に延期することを検討しています。

保護者の皆様へ この一年間の東中へのご理解とご支援に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。